

平成29年度八王子市生涯学習関連事業評価シート

基本施策1 子どもの頃から始める学びの基礎づくり

生涯学習関連事業 104件

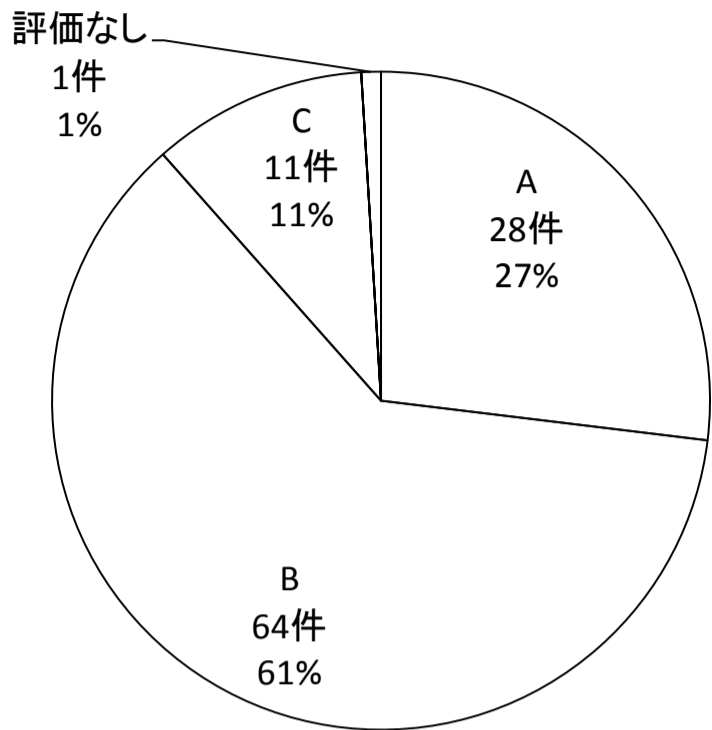
<p>【施策の方向性】</p> <p>子どもは成長過程のさまざまな機会ですさまざまな人々と関わり、人間関係や社会での経験を積み重ねることで、生きる力を育みます。市民が生涯にわたって学び続け、学んだ成果を社会で活かすことができる生涯学習社会の実現のため、人間形成の基礎となる幼児期や学齢期のうちから、学びの基礎・学ぶ習慣を身に付けることが重要です。</p> <p>子どもたちが健やかに育ち、豊かな人生を歩むための基礎づくりとして、家庭での教育を支援し、今まで以上に学校と地域が連携し、多様な学習機会を提供していきます。</p>	<p>【現状と課題】</p> <p>こども科学館、生涯学習センター、児童館など、さまざまな所管が各種講座や自然体験のほか、スポーツイベントなどを実施し、子ども・親子に学習と体験の機会を提供しています。子ども家庭支援センター、保健福祉センターでは、親子を対象に家庭での教育を支援する講座を実施しています。また、市の施設や市内の子育て応援企業における職場体験・職場見学など、社会を学び、職業観を養う取組を学校と連携して行っています。そして、保護者や地域、学校が連携して「放課後子ども教室」を実施し、放課後の子どもの安全・安心な居場所を確保するとともに、地域の方の協力により学習活動にも取り組んでいます。</p> <p>今後は、地域や市民団体、NPO法人、学校、企業などと新たな連携・協働を図り、地域とつながる学校づくりを支援し、子どもたちや家庭に対し、一層充実した学習機会を提供していく必要があります。</p>
---	--

施策の展開	平成29年度の主な取り組み
--------------	----------------------

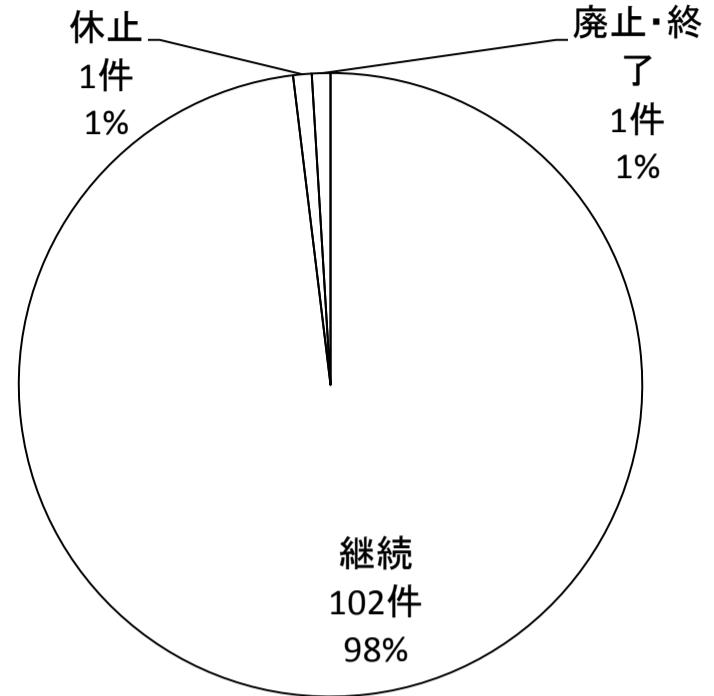
<p>①生きる力を育む子どもの学びと体験の充実 48件</p> <p>市は、さまざまな分野の講座、自然体験、スポーツイベント、作文や絵画のコンクール、海外交流・都市間交流、食育推進活動などを通じて、子どもたちに多様な学びと体験の機会を提供します。また、環境問題や国際理解など、現代的な課題を扱った学習機会を提供し、子どもたちが持続可能な社会の担い手となるようESDにも取り組みます。事業の実施にあたっては、地域の大学との連携をはじめ、市民の持つ知識・技能を活かし、協働による学習機会の充実をめざします。</p>	<p>【18.プラネタリウム番組の投影】では、子ども科学館が平成28年10月から29年3月まで大規模改修で休館しましたが、平成29年7月にリニューアルオープンし、目標3万人に対して入場者が大幅に増となり、延べ57,451名が観覧しました。子どもから大人まで、多くの方々に天文や宇宙に関する知識の普及・啓発ができました。</p> <p>【44.オーケストラ・ワンダーランドへようこそ】では、子どもへのアウトリーチ活動(現地指導)や子ども向け音楽体験プログラムを提供し、さらに平成29年度は、クラシックの名曲だけでなく、市制100周年を記念した特別プログラムとして、オーケストラ演奏による「ぼくらの八王子」を組み入れ、内容・参加者数ともに充実した事業を実施できました。</p> <p>【2.親子料理教室・食育教室】では、平成28年度が27校に対し、55校に倍増することができ、より多くの人に料理を作る体験や食に関する学びの体験の機会を提供することができました。</p>
<p>②家庭教育の支援 35件</p> <p>家庭内のルールづくりや年中行事を通じて家族の絆を深め、家族の会話やコミュニケーションを大切にする取組を推進するとともに、子どもたちが家庭で基本的な生活習慣・学習習慣を身に付けられるよう、子ども家庭支援センターの子育てひろばや、保健福祉センターをはじめ、市のさまざまな施設で家庭教育に関する講座・講演会を実施します。</p> <p>また、親子で楽しみながら学ぶことができるイベントや、保護者の学びを支援する学習機会の拡大を図り、子育てサークルなど多様な場を活用し、家庭への効果的な支援を充実させます。さらに、教育・保育施設や学校など、保護者が集うさまざまな機会を通じて家庭教育についての啓発を推進していきます。</p>	<p>【82.ブックスタート】【83.三歳児健診読みきかせ】では、絵本などのパック3,311パックを配布することで、赤ちゃんや保護者が絵本を介してゆっくりふれあうひとときを提供するとともに、三歳児健診時に読み聞かせを行い、継続的に親子で読書に親しむ機会を提供することができました。</p> <p>【62.のびのび子育て講座】では、地域の方の協力や子育て機関の協力により、講座を97回開催し、子育てを楽しむ時間を提供することができました。</p> <p>【63.リーフレット「八王子の家庭教育8か条」の配布】では、市内小・中学校の児童生徒及び市内幼稚園、保育園に通う5歳児をもつ家庭に配布を行い、家庭教育啓発に努めました。</p>
<p>③学校教育活動の支援 8件</p> <p>学校における子どもへの教育は、教員が実践するだけではなく、保護者や地域のボランティア、企業、大学、市の生涯学習施設などによる教育活動支援が必要です。教育支援人材バンクのボランティアによる学校支援、企業や大学の持つ専門性を活かした教室などを実施するとともに、これらの取組が機能するためのしくみづくりを進めます。</p>	<p>【86.学校支援ボランティアを取りまとめる学校支援事務局の全校配置】では、昨年度の98校から全校(108校)に実施を拡大できました。これにより市立小・中学校の教育活動を支援しています。</p> <p>【90.東京交響楽団PJアウトリーチ事業】【91.劇団四季心の劇場】では、団体との協働により、児童に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供しました。</p> <p>【88.中学生職場体験】では、36校123名の生徒が体験し、地域にある身近な職場として、図書館での体験を取り入れ、図書館の仕事はカウンターでの接客業務だけでなく、内部業務も多くあることを知ってもらうとともに、働くことの意義やチームワークの大切さを体験してもらうことができました。</p>
<p>④地域の教育力を活かす・高める 13件</p> <p>保護者や地域、高齢者、NPO法人などの参画により実施する放課後子ども教室、大学や企業と連携した子どものためのイベントや学習機会の提供など、八王子の地域全体で子どもの学習・体験活動を充実させます。放課後子ども教室の実施にあたっては、国の『放課後子ども総合プラン』に基づき、学童保育と一体的・連携した運営により、学校施設などを活用した放課後の子どもの安全・安心な居場所づくりに取り組みます。</p> <p>これらの取組の拡大により、地域の教育力がさらに高まり、おとなたちのつながりや世代間交流が生まれ、地域の結びつきが深まることをめざします。</p>	<p>【98.放課後子ども教室】では、実施校を3校増やし、64校で実施し、地域や学校、学童保育所担当所管と連携を図り、実施日数の増加や学習プログラムの拡充を図りました。</p> <p>【95.夏休み子どもいちょう塾】では、今回から開催日を1日から2日増やしたことに加え、申込方法を往復はがきからWEB申込に変更しました。申込者は昨年の390名から808名に増え、参加者も大幅に増えました。工作や実験の他、プログラミング、裁判の体験、英会話など幅広い分野の全23講座を2日間にわたり実施しました。</p> <p>【104.南大沢文化会館ダンスワークショップ】では、地域の大学生・OBが講師を務め、57回ワークショップを実施し、ダンス技術の向上や主ホールでの発表会を通じた舞台体験の機会を提供し、文化芸術に携わる層の拡充に寄与しました。</p>

平成29年度八王子市生涯学習関連事業評価シート
基本施策1 子どもの頃から始める学びの基礎づくり

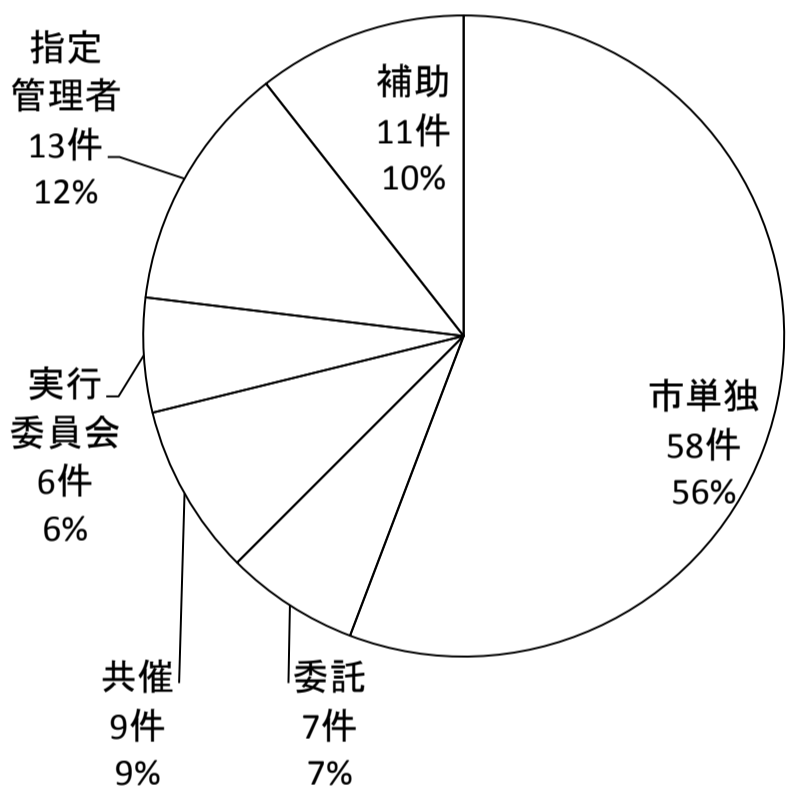
所管評価



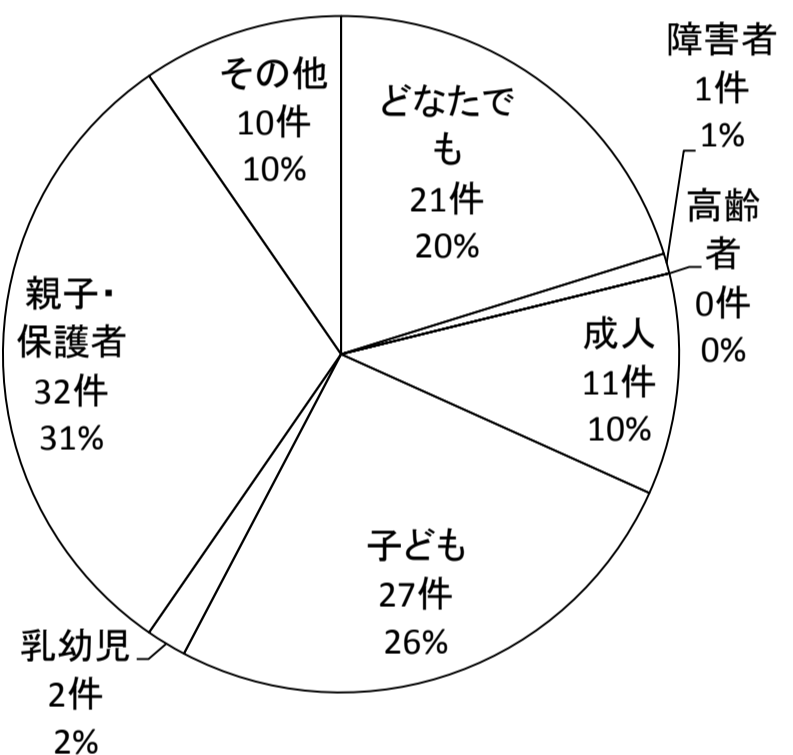
方向性



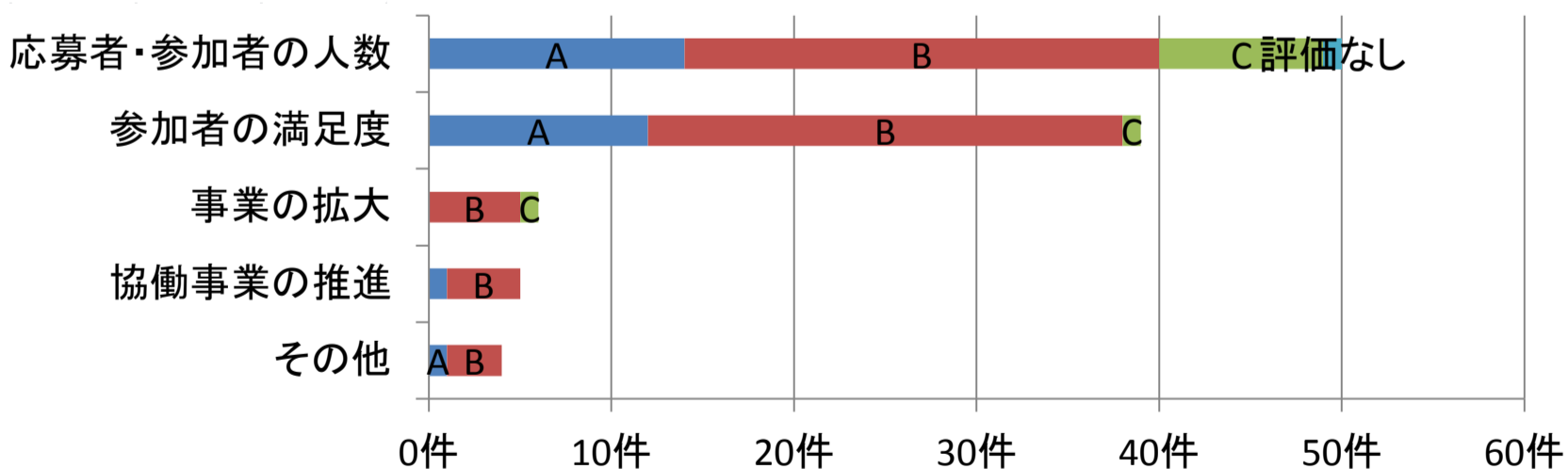
事業の実施形態



対象者



評価指標項目



生涯学習審議会評価

生涯学習については、大人が取り組むものと考えがちだが、子どもの頃から生涯学習に触れる機会が多いのは八王子の特長と言える。こうしたなかで、基本施策1「子どもの頃から始める学びの基礎づくり」に掲げている事業は、学校・家庭・地域の連携の賜物であると評価できる。

また、都市の生活のスタイルが浸透して、子どもの体験不足が指摘されているなかで、八王子市の地域の資源を生かした学びの機会を多角的に提供している点は評価できる。

一方、生活スタイルの変化に伴い、子どもたちは日本の伝統的な生活スタイルを知らない事例もある。高齢者と子どもの多世代交流の機会を増やすことで、次の世代へ引き継いでいく取り組みが必要なのではないか。話を聴くなど教えてもらうだけでなく、子どもたちが実際に体験することに重点をおくことが求められている。